

Break Through

茨城県工業技術研究会だより

2013年3月 No.20

目次

- P.1 第38回通常総会・特別講演会開催
- P.2 経済講演会「グローバル時代を勝ち抜くーコネクティブ企業の挑戦」ほか
- P.3 各技術部会の活動
政策提言部会、機械技術部会
- P.4 電子応用技術部会
- P.5 材料・表面技術部会
- P.6 交流企画部会 DVDご利用のお知らせ

—第38回通常総会・特別講演会開催—

茨城県工業技術研究会の第38回通常総会が、平成24年6月27日、水戸京成ホテルにおいて開催されました。また、総会とあわせて「勝つための経営 グローバル時代の日本企業生き残り戦略」と題した特別講演会を開催し、東京大学大学院特任研究員の吉川良三氏がグローバル化時代における企業の生き残り戦略についての講演を行い、約100名の方にご参加をいただきました。

1) 第38回通常総会

- ・平成23年度事業・決算・監査報告案および平成24年度事業計画、予算案が原案通り承認されました。
- ・平成23年度会員表彰が行われました。各企業からのご推薦により、4企業の個人・グループの方が表彰され、各受賞者より受賞のスピーチしていただきました。

会員表彰受賞の方々

○製造生産プロセス、製品技術開発部門

- ・株式会社 大貫工業所 和田 正勝 様
ダイキャスト製造の順送プレス化によりコストダウンされた製品「ステータ、シート」の開発
- ・平沼産業 株式会社 TOC-2300 開発グループ 様
「全有機炭素測定装置 TOC-2300 の独自開発」
- ・コロナ電気 株式会社 新技術開発チーム 様
「マイクロプレートリーダーの機能拡充」

○ものづくり現場を支える高度技能部門

- ・茨城プレイング工業 株式会社 武石 教令 様
「技術部門のリーダーとして技術およびプロセスの改善に努められ、県めっき業界の技術発展に貢献」



2) 特別講演会

演題：「勝つための経営 グローバル時代の日本企業生き残り戦略」

講師：東京大学大学院経済学研究科

ものづくり経営研究センター 特任研究員 吉川 良三 氏
(元韓国サムスン電子 常務)

内容：急成長を遂げた韓国サムスン電子を事例に、グローバル時代の中、日本企業はどのような企業戦略を立て、生き残りを図るべきかについて講演をしました。



(茨城県産業施策の紹介)

演題：・茨城県総合計画について

・中小企業の海外展開への支援について ほか

Break Through

会員企業の皆様への情報提供などを目的に、茨城産業人クラブなど県内経済団体等と講演会、パネルディスカッションを開催しました。

●経済講演会「グローバル時代を勝ち抜くーニッチトップ企業の挑戦」

(主催：茨城産業人クラブ／茨城県／茨城県中小企業振興公社／日刊工業新聞社／茨城県工業技術研究会)

- ・実施日：平成 24年 5月 14日 (月)
- ・参加者：130名
- ・内容：

独自の技術で国内外トップクラスのシェアの製品を持つ県内企業の方々に、グローバル時代を勝ち抜いてきた技術力や独創性について、パネルディスカッション形式でお話いただきました。

講師：

新熱工業 株式会社

代表取締役社長 大谷 直子 氏

株式会社 協立製作所

代表取締役社長 高橋 日出男 氏

日本エクシード 株式会社

代表取締役社長 高山 直紀 氏

株式会社 エイ・イー・エス

代表取締役筑波事業所長 富田 一正 氏

モデレーター

茨城県商工労働部産業技術課長 中嶋 勝也 氏



●経済講討論会「工場長サミットー変わる茨城のモノづくり」

(主催：茨城産業人クラブ／茨城県／茨城県中小企業振興公社／日刊工業新聞社／茨城県工業技術研究会)

- ・実施日：平成 24年 11月 14日 (水)
- ・参加者：140名
- ・内容：

県内大手企業の工場長および経営層の方々にパネラーに迎え、変化する茨城のモノづくりという観点から、10年後、20年後のモノづくりのありかた、必要な人材像などについて、論じていただきました。

パネラー：

株式会社 日立ハイテクノロジーズ

執行常務役 那珂地区生産本部長

杉山 秀司 氏

株式会社 日立製作所

インフラシステム社 大みか事業所長

村上 勝孝 氏

株式会社 東京精密 代表取締役 計測社社長 吉田 均 氏

モデレーター：

茨城県商工労働部長 横山 仁一 氏



Break Through

一各技術部会の活動一

各技術部会の今年度の活動状況をお知らせします。

《政策提言部会》

政策提言部会では、工業技術センターに関するアンケートを会員企業の皆様に実施いたしました。その結果、センターの良い点として設備や装置が利用可能な点との回答が7割を超え、試験装置などの利用に対する期待が最も高いことが分かりました。その反面、設備や装置が足りないとの意見も半数を超え、試験装置の充実への期待が高いことも分かりました。このような意見を踏まえ、センターに、企業ニーズの高い設備や装置が整備されるよう要望してまいります。

《機械技術部会》

●「表面粗さ測定技術講習会」

- ・実施日：平成24年7月25日（水）
- ・参加者：18名
- ・講師：アメテック株式会社 宮下 勤 氏
- ・内容：

加工指示や品質管理において必要不可欠な表面粗さについて、表面粗さ輪郭形状測定機を用いて講習を行いました。

座学では、粗さ測定の原理やこれまでのJIS規格の変遷、JIS規格とISO規格の違い、測定結果をどのように活用するかについて学びました。

また実習では、参加者が持ち込んだ試料を講師と共に測定し、測定のコツや測定結果から読み取れる現象について学びました。

講習を通じて、品質管理における粗さの測定結果の有効活用法を理解していただきました。



●「振動解析セミナー」

- ・実施日：平成24年11月1日（木）
- ・参加者：10名
- ・講師：株式会社 小野測器 斎藤 祐之 氏
- ・内容：

本セミナーでは、振動や音響の発生要因や特徴、および評価指標についての基礎知識を学び、インパルスハンマーで打撃し固有振動数を求める実習を行いました。振動や音響現象の評価は感覚によるものが一般的ですが、計測機器を用いてデータ化し、振動の特徴に合った分析を行うことで定量的な評価が可能となります。

本セミナーを通じて、振動解析の有効性について理解を深めていただきました。



Break Through

●「形状計測セミナー」

- ・実施日：平成25年3月11日（月）
- ・参加者：6名
- ・講師：CDT研究所 代表 中村 哲夫 氏
(独)産業技術総合研究所 高辻 利之 氏
阿部 誠 氏

・内 容：

加工指示や品質管理において必要不可欠な形状計測について、三次元測定機を用いたセミナーを行いました。

座学では、三次元測定や測定基準（データム）について解説していただき、設計図面の正しい解釈の仕方を学びました。また実習では、実際に三次元測定機を使い、測定する際の注意点などについて学びました。個別相談では、実際に持ち込んだ図面を見ながら、具体的な測定方法などについてアドバイスをいただきました。

セミナーを通じて、品質管理における形状測定的重要性を理解していただきました。



《電子応用技術部会》

●「プログラマブルロジックコントローラ実習セミナー」

- ・実施日：平成24年7月19日（木）
- ・参加者：10名
- ・講師：オムロン 株式会社 秋山 奈緒 氏
- ・内 容：

生産現場において工程の自動制御に多く使用されているプログラマブルロジックコントローラ（PLC）とタッチパネルを使用して、開発方法の基礎からファクトリーオートメーションの実践的な例題演習までの実習を行いました。

実機を模擬したコンベア搬送・検査工程のミニチュア機材の使用と講師の方の丁寧な説明があり、参加の皆様には内容を十分にご理解いただけたかと思えます。



●「facebook 入門&ビジネス活用セミナー」

- ・実施日：平成24年12月5日（水）
- ・参加者：7名
- ・講師：株式会社 RT プランニング 榎本 倬也 氏
- ・内 容：

ユーザー数が全世界で10億人に達するソーシャルメディアである「facebook」の入門と、ビジネスでの活用方法を学ぶセミナーを開催しました。

facebookの解説からアカウント取得方法や画面の操作方法などについてタブレットPCを操作しながら体験する実習を行いました。また、成りすましやウィルス対策、プライバシーやセキュリティ保護に関する注意点なども解説していただきました。



Break Through

●「電子応用技術部会企業見学会」

- ・実施日：平成24年12月13日（木）
- ・参加者：15名
- ・見学先：株式会社 東京電機
- ・内 容：
非常用・防災用の自家発電機の製造で国内第2位のシェアを誇る株式会社東京電機を見学させていただきました。
担当者の方より企業の沿革と研究、製品開発に対する取り組みについて話を伺った後、設備等を見学をいたしました。見学後の意見交換会では、発電機の仕様や納期、クレーム対応などの具体的な項目について活発な質疑応答、意見交換が行われました。
参加者の方々には、今回の見学会をとおして、参考になる点を見出していただけただかと思ひます。



《材料・表面技術部会》

●「めっき液管理の実習セミナー」

- ・実施日：平成24年7月19日（木）
- ・参加者：20名
- ・講 師：有限会社 カシムラ工業所 鹿志村 高道 氏
株式会社 クロス 石浜 貞夫 氏
双葉メッキ工業 株式会社 矢澤 啓次 氏
株式会社 山本鍍金試験機 秋山 勝徳 氏
- ・内 容：
めっき液の自己管理を目的として、分析の基礎となる滴定分析及び液の状態を確認するためのハルセル試験について、めっき液管理の必要性を含めての講義と実習を行いました。
めっき液バランスの悪い液やめっきに対して妨害となる金属イオンを含む液についても同様に滴定分析やハルセル試験を行い、正常・異常の状態を体験し、製品管理に対する分析の必要性に対する理解を深めていただきました。



●「金属プレスおよび樹脂成形における金型コーティング技術講演会」

- ・実施日：平成24年9月11日（火）
- ・参加者：15名
- ・内 容：
ものづくり製造業では金属プレス加工や樹脂成形加工に金型が多用されており、加工精度の維持やメンテナンス間隔の長期化などを目的として、一般的に金型表面へコーティングが施されています。本講演会では金属プレス及び樹脂成形、双方の金型へのコーティング技術の基礎となる考え方や技術の現状について専門家の講演を行いました。

講演1：「金属プレス金型のコーティング技術と損傷評価」

茨城大学大学院理工学研究課 准教授 西野 創一郎 氏

講演2：「射出成形用金型における最近のコーティング技術」

茨城県工業技術センター 繊維工業指導所 望月 秀憲 氏

Break Through

《交流企画部会》

●「茨城大学工学部研究室訪問交流会」

- ・実施日：平成24年10月3日（水）
- ・参加者：約100名（会員12名）
- ・内容：

講演会では、産学官連携イノベーション創成機構の前川機構長より、茨城大学の産学官連携活動状況について紹介いただいた後、4つの教育研究センター（ライフサポート、塑性加工科学、グリーンデバイス、高度化防災セキュリティ技術）についてご説明いただきました。

研究室訪問では、教育研究センターの各研究室を訪問し、研究成果等をご紹介いただきました。最後に懇親会が開催され、各支援機関等を交えて、活発な意見交換が行われました。



●「県内企業見学会」

- ・実施日：平成25年2月20日（水）
- ・参加者：13名
- ・内容：

自動車・家電向けの薄板を中心に、厚板、鋼管、形鋼などを製造している新日鐵住金(株)鹿島製鉄所を見学させていただきました。

鹿島製鉄所は、2基の高炉を有する鉄鋼一貫製鉄所で、高付加価値製品を造るとともに世界トップレベルの生産性を誇ります。最初に、製造工程等のご説明をいただき、続いて熱延工場の見学を行いました。その後、技術開発本部の福島主幹研究員と意見交換を行い、我々が加工、組立などで取り扱っている鉄鋼材料の生産技術の動向等について知見を深めることができました。



DVD・ビデオをご利用ください

工業技術研究会では、ものづくりに関わる加工技術や品質管理技術等の教育用DVD・ビデオを所有しており、会員の皆様に無料で貸し出しを行っております。教育用のテキストも添付されておりますので、今後の企業活動に是非ご活用ください。貸し出しをご希望の方は、事務局までご連絡をお願いいたします。

●DVD

- ・「生産管理 実践品質管理講座」全5巻
- ・「経営 ものづくり現場の基本」全5巻
- ・「生産管理 工程ばらしのノウハウ」全4巻
- ・ものづくり日本の未来を担う「茨城の若き挑戦者たち」など



●ビデオ

- ・金属の知識 全2巻 ・電気の知識 全3巻
- ・切削加工技術 全3巻
- ・PL 戦略ビデオシリーズ 全4巻
- ・メカトロニクスの知識 全4巻
- ・ISO9000 の実際 など



発行：茨城県工業技術研究会

■事務局

〒311-3195 東茨城郡茨城町長岡 3781-1
茨城県工業技術センター内

TEL 029-293-7213 FAX 029-293-8029

■入会手続

- 年会費 10,000円
- 入会方法 事務局にご連絡ください。
- ホームページアドレス
<http://www.ibaraki-tec.com/>